

和歌山市G-Pネットニュースレター

第1号（平成26年1月）

日頃は、和歌山市の精神保健医療にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、これまでも和歌山市医師会の皆様にはお伝えしてきましたが、昨年4月1日より「和歌山市G-Pネット」を運用しております。

G-Pネットは、一般診療科医と精神科医の連携を深め、うつ病の早期発見・早期治療を目指して構築されたシステムです。今後、このG-Pネットをより活性化させ、先生方同士の連携を深めていただくために、この度ニュースレターを作成いたしました。このニュースレターでは、数回に分けて市内の精神科医療機関で日頃ご活躍されている精神科の先生方を紹介させていただきます。是非この機会に、市内の精神科医療機関や先生方を知っていただき、顔の見える繋がりを図っていただければと願っています。

○和歌山県立医科大学附属病院（和歌山市紀三井寺 811-1 TEL447-2300）



神経精神科教授 篠崎和弘先生

和歌山県立医大神経精神科は基幹病院として、地域のクリニックなどと連携しています。うつ病の詳しい鑑別診断や専門治療が可能です。うつ病の薬物治療で改善しない方、再発を繰り返される方、入院治療（閉鎖病棟になります）が必要な方には、認知行動療法、電気痙攣療法、職場復帰支援（リワーク）、磁気刺激療法などの治療が可能です。主治医からの紹介状をご持参ください。

ちなみに、平成25年はうつ病を含む気分障害の患者さんは外来新患の20%、入院の30%でした。

○日本赤十字社和歌山医療センター（小松原通4丁目20 TEL422-4171）



精神科部長 東睦広先生

当センターは、急性期の総合病院であり、精神科については無床ですが、病院の役割から癌によるうつやせん妄、自殺企図などの患者さんのニーズにこたえるべく日々、診療しています。

院内の医師、看護師、精神保健福祉士などのスタッフや保健所をはじめとする関係機関と連携し、患者さんの生活に関する支援にも力を入れていきたいと考えています。今後よろしくお願ひします。

○田村病院（小倉645 TEL477-1268）



院長 木下定子先生

当院は昭和36年に設立し「患者様に選ばれる病院づくり」を理念に患者様、地域、時代のニーズにお応えできるよう開かれた病院を目指しています。そして医療のみならず、地域における精神科病院の責務を認識し精神保健福祉にも積極的に参加し貢献できれば、と考えています。

また地域生活支援の充実に向け、外来デイケア、外来作業療法、訪問看護を行い、平成23年10月より和歌山県から委託を受け「精神障害者アウトリーチ推進事業」にも取り組んでいます。今後も患者様の心に寄り添い、心あたりのいい医療を提供し、和歌山県の精神科医療の発展に努めてまいります。

○宮本病院（塩屋3丁目6-1 TEL444-0576）



院長 宮本典亮先生

宮本病院では精神科・心療内科を標榜し、統合失調症やうつ病、ストレス関連疾患を中心に外来診療部門と急性期治療病床を含む339床の入院部門で地域精神医療に取り組んでいます。また、うつ病等の患者様には静かな環境のもとで療養していただけるようにストレスケアユニットとして個室を4床設けております。

精神科救急輪番制への参加やグループホームを併設し、地域で生活されている患者様への支援にも力を注いでいます。今後も地域と密接に連携を図り、質の高い医療ニーズを提供できるよう努力を重ねていきたいと考えております。

○和歌浦病院（和歌浦東3-2-38 TEL444-0861）



院長 早野泰造先生

（※2016年4月から院長は佐伯 要先生になっています）

当院は、精神科単科病院で、比較的軽度な方から重度の疾患まで幅広く対応しております。患者さまの社会復帰を目指し、訪問看護やデイケア・ショートケア、作業療法等、一人ひとりに合ったオーダーメイド医療の選択が出来る病院です。

「精神保健指定医」の医師、薬剤師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士等、充実したスタッフで取組みを行っております。また、アルコール依存症の専門外来も行っておりますので、G-Pネットを利用し、ご相談ください。

今後もG-Pネットにご協力いただいている精神科医の皆様をご紹介します。
和歌山市G-Pネットの詳細については、和歌山市ホームページからご確認ください。

発行：和歌山市保健所 保健対策課 こころの健康対策班

〒640-8137 和歌山市吹上5丁目2-15

TEL073-488-5117 FAX073-431-9980

E-mail:hokentaisaku@city.wakayama.lg.jp